

先住民民族襲撃

真相究明訴え

バンングラテシユ

バンングラテシユ東部チッタゴン丘陵地帯で、先住民民族「ジュマ」が多数派のベンガル人入植者らの襲撃にあう事件が相次ぎ、在日のジュマの人たちが25日、都内のバンングラテシユ大使館を訪れ、真相

究明などを訴えるハシナ首相あての書簡を提出した。英BBCやNPO「ジュマ・ネット」(東京)によると、事件は19日、ランガマティ県で入植者がジュマの家に放火して発生。20日には軍も発砲し、ジュマの2人が死亡。23日にはカグラチャリ市で千人規模のジュマの学生デモ隊とベンガル人学生が衝突、ベンガル人1人が死亡した。(前川浩之)